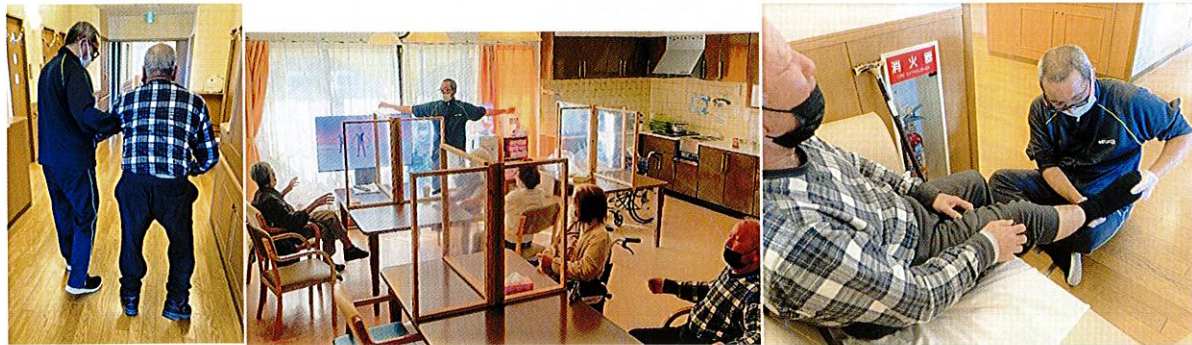


そこでシヨートステイ谷茶の丘では、シヨートステイご利用中の身体機能を落とさないよう、与儀義一機能訓練員を中心に個別や集団での機能訓練を実施しております。

またスタッフの業務会議では、おひとりおひとりの身体状況やケアの方針を確認することで、スタッフが同じ内容のお世話ができるよう心掛けています。

その結果、ご利用者の身体機能の衰えを最小限に保つことができていると考えており、以前のような（ご利用中に機能が低下するとの）ご不満の声も聞かれなくなりました。

今後、スタッフが力を合わせて機能訓練を含めた本人の状態にあったケアを提供するこ



とで、ご利用者やご家族に喜んでいただき、それが私たちスタッフの喜びにつながるよう取り組んでいきます。

【機能訓練の様子】おひとりずつ身体状況やその日の体調に合わせて、機能維持の訓練や機能低下を防ぐためのアドバイスをおこないます

「大名ダイサービスセンター」の紹介

老人ホーム大名の建替え工事期間中併設の「ダイサービスセンター大名」の機能を浦添市内間に移転しました。新規事業所の扱いで名称も変わり、令和3年5月から開業しています。

事業所の場所は県道330号線沿いの「すき家330号浦添内間店」の隣の建物となります。

新しい場所でスタッフ一同心機一転頑張っておりますので、これからも宜しくお願い致します。

※質問・見学等お気軽にお問い合わせください。
（連絡先・098-988-8783 安座間）

ダイサービス外観

歩行訓練の様子

栄養バランスの撮れた食事

集団体操の様子

歩行訓練の様子、栄養バランスの撮れた食事、集団体操の様子

谷茶の丘・雅 軽石除去ボランティアの報告
『恩納村のきれいな浜を取り戻そう』

2021年8月13日、小笠原諸島の海底火山が噴火し、その影響で大量に発生した軽石が10月中旬頃から沖縄本島に漂着してきました。

そして軽石は恩納村の海岸にも押し寄せました。漁港の船舶は軽石によるエンジントラブルを懸念して漁やダイビングを中止したり、養殖モスクの収穫に影響が出るなど漁業や観光業に多大な影響を与えています。

谷茶の丘・雅が立地しており、沖縄の代表的な民謡「谷茶前節」の舞台である谷茶海岸にも大量の軽石が押し寄せて、きれいな白い砂浜から黒い砂浜に変貌を遂げてしまいました。

そこで、谷茶区へ申し出て11月26日に職員7名が海岸の軽石除去作業をお手伝いし、短時間ではありましたが、土嚢60袋分の軽石を除去しました。

その後、恩納村社会福祉協議会が除去ボランティアを募集したこともあり、12/4(土)、地域支

援室を中心とした職員が作業へ参加しました。

仲泊海岸の作業には地元仲泊小学校児童や住民、企業等多くの方が参加しました。

子供達が詰めた土嚢を大人達が運搬するのですが、砂浜に足を取られながらの作業は想像以上に重労働でした。後日筋肉痛になった職員も多かったようです。この日は2時間近くの作業で土嚢650袋の軽石を除去しました。

参加者の感想

○仲泊小学校 富山陽琉(うりゅう)さん



授業中、教室から海を見ると灰色の常状のものが浮かんでいて「なんだろ」と思った。次の日タグラグビーチーム(仲泊TRC)の朝練で砂浜を走り黒

くなった浜をみてビックリ、チームみんなでできることを考えて作業に参加しました。軽石を全部取るのはまだ時間がかかると思うので、またできる時にボランティアをしたいです。

○谷茶の丘・雅 訓練員 與儀義一さん

仲泊海岸は砂浜に奥行きがあり貴重なウミガメの産卵地となっており、昨年も4つの産卵あとが確認されています。これからも、ウミガメが安心して産卵できる環境を早く取り戻せるようお手伝いを続けていきたいと思えます。



私達職員はこれからも地域の一人として、住民の方の困りごとへ一緒に取り組んでいきたいと考えています。